

令和4年度 行政評価について

1 概要

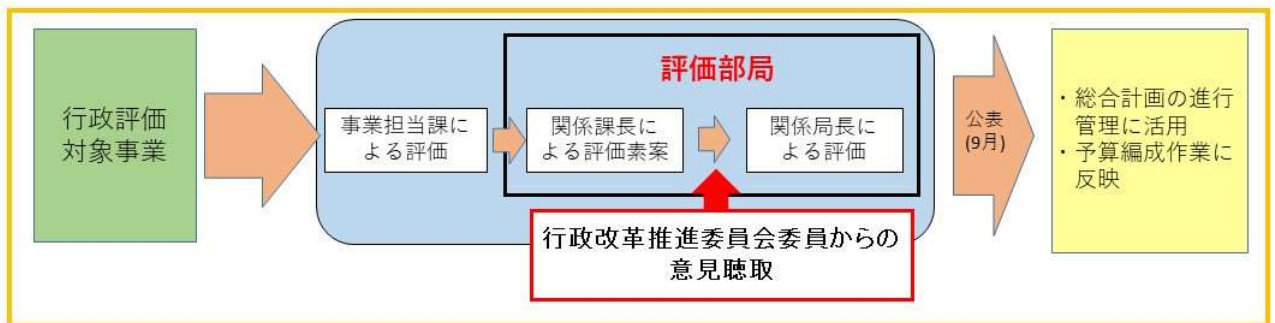
本市の総合計画の効率的かつ計画的な推進に資するとともに、市民の視点に立った成果重視型の行財政運営の実現を図るため、行政評価を実施している。

4年度から、様々なデータを活用するなどエビデンスに基づき、より効果的・効率的に各事業を推進するため、行政評価にE B P M（ロジックモデル）を導入し、効果・成果をより見える化するとともに、事業の見直しを進めることとしている。

4年度実施する事務事業評価においては、見直し必要性の高い11事業を評価の対象事業とし、庁内の評価部局により評価を決定することとしている。

【理由等】

- ①本市においては、これまでに内部・外部評価による事務事業評価を4巡実施したことにより、434事業を見直し対象とするなど、一定の成果が図られたところである。
- ②今後は、E B P M（ロジックモデル）を活用した内部評価を政策立案・予算編成のプロセスに組み入れ、自ら事業点検を行う中で、不断の見直しや改善につなげる方向で整理し、評価業務の効率化を図っていきたいと考えている。
- ③国の政策評価審議会においても、政策評価制度に関し、今後は政策立案や改善などを含めたプロセスと一体として位置付けるべきだと提唱されている。
- ④これまで外部評価により実施している政策・施策評価については、事務事業評価の方向性を整理する中で、今後検討する。



2 行政改革推進委員会委員からの意見聴取

(1) 実施の目的

評価部局による各事業の評価を決定するにあたり、参考として委員に評価内容等について意見を伺うもの。

今後の行政評価等へのE B P Mの推進への材料とするため、E B P M(ロジックモデル)の成果や見せ方についても意見を伺うもの。

(2) 対象事業

資料2を参照（評価資料（ロジックモデル）は資料3を参照）

(3) 評価の視点

- ・ロジックモデルにより、効果・成果などがより見える化されているか。
- ・各項目（インプット、アウトプット等）の因果関係が簡潔に示されているか。
- ・評価案、評価理由は、ロジックモデルに記載の指標などと矛盾していないか。 等

※ご意見については、別紙（資料4）にて行政管理課宛てに8月3日（水）までにご提出ください。

3 これまでの実施状況

① 第四次総合計画期間

年度	区分		評価事業数
H16	事務事業評価	内部評価	482
H17			367
H18	事務事業評価	内部・外部評価	304 (外部:34 内部:270)
H19			350 (外部:38 内部:312)
H20			266 (外部:36 内部:230)
H21	政策・施策評価	外部評価	6政策・21施策

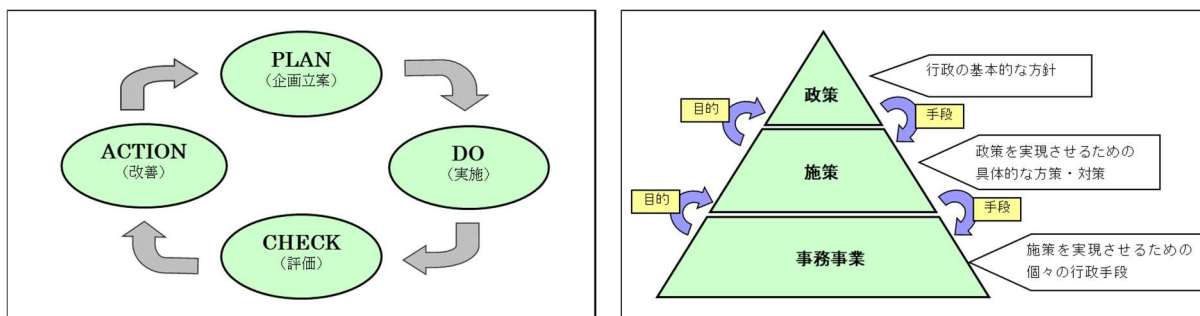
② 第五次総合計画期間

年度	区分		評価事業数
H24	事務事業評価	内部・外部評価	181 (外部:35 内部:146)
H25			198 (外部:32 内部:166)
H26			211 (外部:32 内部:179)
H27	施策評価	外部評価	24施策
H28	—	—	
H29	事務事業評価	内部・外部評価	81 (外部:12 内部:69)
H30			85 (外部:13 内部:72)
H31	政策・施策評価	外部評価	6政策・24施策

4 参考

行政評価とは、行政機関の活動を客観的に評価し、その評価結果を行財政運営に反映させることを目的とした一つの手法である。

行政が実施する政策、施策及び事務事業について、「いかに成果があがったか」、「いかに効率的な行政サービスを提供できたか」という視点から客観的に評価を行う。



○これまでの事務事業評価

